

県政調査計画書

平成29年1月31日

県議会議長 森 正明 殿

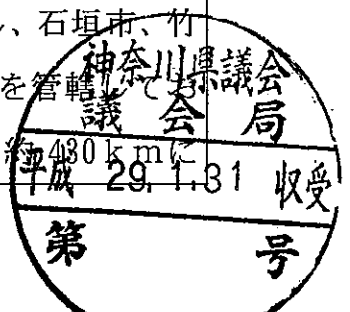
会派名 公明党神奈川県議会議員団

団長名 小野寺 慎一郎

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 小野寺 慎一郎 (団 員) 渡辺 ひとし 高橋 稔 亀井 たかつぐ
2 調査目的	沖縄県の基幹災害医療センターでもある県下最大規模の病院の医師臨床研修への取組や地域医療への取組と、グリーンツーリズムを活用した地域振興策を調査するとともに、海上保安業務の最前線である沖縄近郊の海域をめぐる現状と、海上保安業務と自衛隊や米軍との連携や、国防の最前線であり多くの基地を抱える沖縄県における防衛施設(自衛隊及び米軍)の状況やシーレーン防衛などの活動状況について調査し、基地問題や安全安心対策について意見交換することにより県政の参考とする。
3 調査期間	平成29年3月27日～平成29年3月29日
4 調査地	沖縄県
5 調査項目	(1) 海上保安庁石垣海上保安部 石垣海上保安部は日本最南端に位置し、石垣市、竹富町、与那国町、宮古島市及び多良間村を管轄し、その担任水域は南北約330km東西約480kmに



及ぶ。中国、台湾と国境を接していることから、領海警備では、外国漁船による領海侵犯不法操業、外国海洋調査船による周辺海域における調査活動に対する監視・取締り業務など重要な責務を担っている。同保安部における海上保安業務の現状と、自衛隊や米軍との連携や地元市町村との協力関係などについて調査することにより、本県の安全安心対策の参考とする。

(2) 石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会

沖縄県では、グリーンツーリズムを活用して交流人口の増加を図りながら新たな市場を創出し、各種地場産業と連携して農林漁業等の活性化につなげる取組や、地域の総合力を活かした地域振興を図る取組を推進している。石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会が推進する民泊を通じた農漁村生活体験や農作業体験などの取組を調査することにより、豊富な農林漁業資源を有するものの、近年人口減少が進む三浦半島地域や県西地域におけるグリーンツーリズムを通じた本県の新たな地域経営戦略の参考とする。

(3) 防衛省沖縄防衛局

防衛省沖縄防衛局を訪問し、国防の最前線であり多くの基地を抱える沖縄県内の防衛施設(自衛隊及び米軍)の状況や同局におけるシーレーン防衛などの活動状況について調査するとともに、沖縄県内における基地問題や安全安心対策について意見交換することにより、沖縄県同様に県内に多くの基地や防衛施設を抱える本県の基地問題への対応策や安全安心対策の参考とする。

	<p>(4) 沖縄県立中部病院</p> <p>沖縄県立中部病院は、沖縄県の基幹災害医療センターであり、救命救急センターやDMATチームをもち、総合周産期母子医療センターにも指定されている。沖縄県内最大規模の病院であり、全国的にも臨床研修希望者の多い病院として知られる同病院を訪問し、医師臨床研修への取組や地域医療への取組などを調査し、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けた本県の地域医療体制整備の参考とする。</p>
<p>6 経費の概算額</p>	<p>一人当たりの議員旅費…193,600 円</p> <p>内訳 交通費 157,000 円</p> <p>宿泊費 33,000 円</p> <p>日当 3,600 円</p>

* 日程表を添付する。

県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関	調査箇所及び調査内容
1	3/27 (月)	沖縄県	午前 午後	飛行機等 飛行機等 公共交通機関等	移動(羽田空港～那覇空港) ANA995便・那覇空港行で空路那覇市へ移動 移動(那覇空港～石垣空港) ANA1771便・石垣空港行で空路石垣市へ移動 ●視察1「海上保安庁石垣海上保安部」 ・最前線の海上保安業務について ＜石垣市内泊＞
2	3/28 (火)	沖縄県	午前 午後	公共交通機関等 飛行機等 公共交通機関等	●視察2「石垣島田舎体験プロジェクト実行委員会」 ・グリーンツーリズムを活用した新たな地域経営戦略について 移動(石垣空港～那覇空港) JTA612便・那覇空港行で空路那覇市へ移動 ●視察3「防衛省沖縄防衛局」 ・沖縄県内の防衛施設(自衛隊及び米軍)の状況と沖縄防衛局の活動状況について ＜那覇市内泊＞
3	3/29 (水)	沖縄県	午前 午後	公共交通機関等 飛行機等	●視察4「沖縄県立中部病院」 ・医師臨床研修及び地域医療への取組について(基幹災害医療センター、DMAT、総合周産期母子医療センターなどへの取組を含む) 移動(那覇空港～羽田空港) JAL908便・羽田空港行で空路東京都へ移動 ※羽田空港到着後解散

※ 現地時間は、当該都市における時間である。

県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 小野寺 慎一郎 (団 員) 渡辺 ひとし 高橋 稔 亀井 たかつぐ
---------	---

1 要領 2 (1) の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員 1 人当たり 100 万円以内	議員 1 人当たりの経費は 193,600 円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1 日につき午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査実施 移動日は 1 箇所以上調査実施	移動日については、1 箇所以上、それ以外の日については午前及び午後それぞれ 1 箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>(1) 海上保安庁石垣海上保安部を訪問し、中国、台湾と国境を接する最前線の海域における外国漁船による領海侵犯不法操業、外国海洋調査船による周辺海域における調査活動に対する監視・取締り業務などの海上保安業務の実情や海上保安庁と自衛隊や米軍との連携や地元市町村との協力関係などについて調査することは、本県の安全安心対策に資する。</p> <p>(2) グリーンツーリズムを活用して交流人口の増加を図りながら新たな市場を創出し、地域の総合力を活かした地域振興を図る取組や民泊を通じた農漁村生活体験や農作業体験などの取組を調査することは、近年人口減少が進む三浦半島地域や県西地域におけるグリーンツーリズムを通じた本県の新たな地域経営戦略の策定に資する。</p> <p>(3) 防衛省沖縄防衛局は、防衛行政全般の地方における拠点として全国 8 カ所に設置された地方防衛局の一つであり、沖縄県内における防衛行政の拠点として、防衛省の諸政策の企画・立案の過程で必要となる地方公共団体との調整など</p>

区 分	所 見
	<p>の事務を行っている。同局を訪問し、国防の最前線である沖縄県内の防衛施設（自衛隊及び米軍）やシーレーン防衛などの活動状況を調査することは、沖縄県同様県内に多くの基地や防衛施設を抱える本県の基地問題への対応策や安全安心対策に資する。</p> <p>(4) 沖縄県立中部病院は、沖縄県の基幹災害医療センターであるほか、救命救急センター、DMATチームをもち、また、総合周産期母子医療センターなどの指定も受けるなど、沖縄県における地域医療の中核的役割を果たしている。同病院は、昭和42年から医師の臨床研修を行っており、研修はハワイ大学医学部と連携し、毎年海外から指導医が来日している。先輩医師である指導医が後輩医師を教え、後輩医師がそのまた後輩医師を教える、いわゆる「屋根瓦方式」の指導を行っており、全国的にも臨床研修希望者の多い病院として知られる。同病院の医師臨床研修への取組や地域医療への取組を調査することは、本県の地域医療体制整備に資する。</p>
<p>② 調査の実施時期が時宜を得たものか。</p>	<p>今回の調査対象項目は、どれも本県の重点施策と関連したものであり、本調査により先進的な取組や事例を調査することは時宜を得たものである。</p>
<p>③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。</p>	<p>各調査項目について、今後の本県における施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き、具体、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
<p>④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。</p>	<p>調査箇所、行程、経費等は、県政調査実施要領の基準を満たし、妥当なものである。</p>